


洋学者 箕作阮甫の生誕地
箕作阮甫旧宅

指定区分	国指定史跡
読みかた	みつくりげんぼきゆうたく
所在地	津山市西新町
指定年月日	昭和50年3月18日
解説	幕末(19世紀初めごろ)の洋学者である箕作阮甫の生家。阮甫は21歳で津山藩医となり、後に江戸に出て洋学を学んだ。ペリー来航時には米大統領国書の翻訳をおこなう。また、カラフト問題でロシアと交渉した時の日記「西征紀行」はよく知られている。
アクセス方法	JR津山駅から徒歩約20分 / バス: 西新町下車すぐ
公開状況	9:30~16:00 / 休日: 月曜日(月曜日が祝祭日のときはその翌日), 12/29~1/3 / 無料 / 問: 0868-31-1346
設備	駐車場 
備考	

きつずページ

していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	箕作阮甫旧宅
よみかた	みつくりげんぽきゆうたく
しょざいち (所在地)	津山市西新町
していつひ (指定した日)	昭和50年3月18日
せつめい	津山(つやま)の医者(いしゃ)だった箕作阮甫(みつくりげんぽ)がうまれた家(いえ)です。阮甫は江戸時代(えどじだい)のおわりごろに江戸(えど)にいき、西洋(せいよう)のことを学(まな)びました。日本を代表(だいひょう)する翻訳者(ほんやくしゃ)となり、外国との話し合いなどで活躍(かつやく)しました。